

心に残る地域の「絆」 滝小最後の学習発表会

12月12日、滝沢小学校では、最後となる学習発表会が開催されました。

滝小は令和4年3月をもって閉校が決まっており、140年の歴史に幕を閉じます。

発表会では、児童たちが一生懸命に練習してきた器楽演奏や舞踊、劇などを堂々と披露し、それぞれの演目では、教職員や保護者が参加、協力しながら行われていました。

『絆祭』という副題どおり、地域の強い絆が感じられる発表会となりました。



CORAZON FC 大会制す U-12フットサル大会開催

11月13日、スポーツセンターにて、江差地方法人会杯U-12フットサル大会が開催され、近隣市町の6チームが参加しました。

本町と江差町の小学生が所属するコラソンFCは、予選リーグを全勝で突破し決勝トーナメントに進出、その後の試合も見事に勝利し、優勝を勝ち取りました。

濱塚弘行監督は「今年は試合数が少なく、久々の大会、緊張のなかでも練習の成果が発揮された価値ある優勝」と話され、選手、応援していた保護者ともに、最高の結果となりました。

冬の交通安全啓発活動 「サンロード作戦」実施

11月20日、「ストップ交通事故サンロード作戦」と題して、冬の交通安全啓発活動が道の駅もんじゅで行われました。

この活動は10月に乙部町で発生した交通死亡事故を受けて、江差警察署が寿都・せたな・松前の各警察署に呼びかけ、4署が連携して実施したもので、日本海側のサンセットラインに所在する各町道の駅の来場者へ安全運転を呼びかけていました。

冬は交通事故が増加する季節です。一人ひとりが交通安全を意識し、特に自動車を運転する際は安全運転を心がけましょう。



個性あふれる 手作りクリスマスリース

12月15日、河北小学校の3・4年生8人がクリスマスリースづくりを体験しました。

これは自然の素材を使用したリース作りを通して、自然や森林への関心を高めることを目的として、檜山振興局森林室が実施したもので、児童たちは、土台や飾りに檜山の木材や松ぼっくりなど、思い思いの素材を使って、色鮮やかな作品を制作していました。

児童たちの作った個性あふれるクリスマスリースは、世界にただ一つの特別なものとなったようです。

